



株式会社セルフ福助 SDGs宣言

当社は、「三方よし」の精神のもと、カット野菜の製造を行い、事業活動を通じて、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年4月3日

株式会社セルフ福助
代表取締役 二宮 繁之



重点項目(ターゲット2030)

事業を通じた社会貢献

カット野菜の製造業者の立場から、道後地区の旅館や病院等に対し、地産地消への取り組みや災害時の役割分担など、積極的に関与し貢献します。

【主な取り組み】

地産地消、地元人材の採用、会合への参加、防災訓練の参加、災害時の役割分担への参画、地域イベントへの参加・協賛



コーポレートガバナンス

法令遵守を徹底し、公正・公平な取引を行い、健全な経営に努めます。経営理念に基づき、顧客および地域から信頼される企業経営を行います。

【主な取り組み】

経営理念の明文化・社内共有、議事録等記録の保管、関連法令の動向の注視、企業規模にとられない公平・公正を旨とした取引関係構築



働きやすい職場環境づくり

経営陣と従業員が一体となって、職場環境の改善に努めます。全ての従業員が明るく元気に働くことが出来るよう、職場環境の整備に努めます。

【主な取り組み】

ハラスメント撲滅の徹底、経営理念の徹底、長時間労働の是正、労使の意見交換による職場環境改善、取引先情報管理のルール化・遵守の徹底



環境負荷低減の取り組み

環境問題を重要な経営課題の一つとして認識し、身近に出来ることから取り組みます。CO2排出量や廃棄物の削減に努め、環境負荷の低減に取り組みます。

【主な取り組み】

LED照明の利用、コピー用紙の裏紙利用、こまめな節電、野菜洗浄の際の節水、NOx低排出車の導入検討、温度管理の徹底



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。